

## 盗聴・盗撮の現状

現在、日本で盗聴盗撮そのものを**取り締まる法律はありません**。

違法性の強いイメージもありますが販売・購入・設置だけでは警察も介入できないという事です。しかし、仕掛ける為に他人の家屋などに無断で侵入した場合は「住居不法侵入」、盗聴した内容を第三者に漏らすと「電波法」などそれらに付随する行為によって「恐喝」「ストーカー規制法」「都道府県条例」等が適用され処罰されます。

年間40万個もの盗聴器・盗撮カメラが販売されているのです。

しかしその発見率は極めて低い現状にあります。つまり発見されていない盗聴器は会話が垂れ流し状態になっているということです。

昔に比べ安価に誰でも簡単に購入できできてしまうことが現状です。

盗聴や盗撮で得た情報や画像が高額で売買されるケースもあります。

**「自分はそんなこととは無縁だ」「テレビの中の話だ」** 世の中のほとんどの人がそう思っています。

**少しでも不安・思い当たる事があれば、まずはご連絡ください。**

## ご依頼される場合の注意点について

盗聴・盗撮調査を実際に依頼される場合には、この時点から盗聴犯に気を付ける必要があります。盗聴器の調査を連絡する際の音声盗聴器に読み取られ、犯人に聞かれてしまうかもしれません。犯人に盗聴調査を行うことが知られてしまうと、調査を開始するまでに盗聴器を外され、調査後に再び設置されるなど工作を凶られるかもしれません。

そのため、盗聴が疑われる場所、部屋からの連絡は避けなければなりません。

**外に出て携帯電話で、あるいはメールでの相談となります。**

連絡する際には、「どうして盗聴を疑っているのか」、あるいは「なぜ盗聴に気づいたのか」といった事項について、把握できる範囲で可能な限り教えてください。

依頼者の情報を聞いたうえで、その後、調査する場所の広さに基づいて見積もりを作成し、ご依頼者様が納得すれば調査開始となります。

実際の調査では、決められた日時に、専門の調査員が調査場所を訪れ、契約を交わして調査を開始していきます。

普段と変わらない生活をするのが、相手に調査がばれることを防ぎ、新たな被害を避けることにもつながりますので、調査開始日までは普段と同じような生活をするようにしてください。

## 盗聴器・盗撮器の設置されやすい場所

### 盗聴器の設置されやすい場所

- コンセントの内部
- 延長コード・電源タップ
- プレゼント(ぬいぐるみ、文房具、電化製品)
- 家具・家電・ソファ・ベッドの間、裏
- 車内
- 一般電話回線
- 職場・会議室

### 盗撮カメラの設置されやすい場所

- トイレ
- 更衣室・試着室
- 寝室(ホテル・家庭)
- 浴室・脱衣所
- リビング

## 盗聴器発見の方法について

盗聴器発見には、専用の電波受信器が用いられます。

インターネットのサイト等で市販されているものには数千円～1万円くらいの安価な発見器が売られていますが、残念ながらほとんど判別することができません。

**誤作動が少なく感度が良いという盗聴発見器はありません。**

自分で盗聴器を発見したいのであれば、ハンディ型の広帯域受信機を使用する方法もありますが、中にはUHFやVHF、アナログ式デジタル式にも対応と書かれた数万円くらいの発見器も盗聴器以外の家電製品に反応してしまう事が多く、気休め程度の実用性はあると思われそうですが、少しでも心配や不安がある場合には、専門業者に依頼するのが良い方法かと思えます。

## 盗撮機発見の方法について

盗撮器具の発見方法としては現在様々な方法が開発されています。

例えば盗撮発見器を利用するという手段があります。盗撮発見器は電波を出している盗撮器具を見つけ出すものと、盗撮機のレンズを照らし出して発見するものがあります。

また、温度差を利用して発見するサーモグラフィーによる調査なども存在しています。

そうした機械を使ったものだけではなく、普段利用しているコンセントの中や、棚の上、家電製品の裏側といった場所を細かく調べることで発見できる場合があります。盗撮機は基本的に誰かを対象としていることが多いので、自分がいることの多い場所を考え細かなとこまで入念にチェックを行います。しかし、そうした方法を使ったとしても、近年は設置の巧妙化、盗撮機の小型化が進んでおり、発見は容易ではありません。また、盗撮機を1つ発見しただけで解決したと思っても、実は複数個存在している場合があります。そうした場合にはやはり専門的知識や経験を持った当社へと依頼するのが確実です。

## 盗聴されるケース

家庭において盗聴器が見つかった場合、盗聴犯として考えられるのは、見知らぬ第三者だけではありません。盗聴犯が、身内である友人や家族、同僚、恋人などであることも十分に考えられます。

### ■盗聴犯が友人や同僚の場合

盗聴犯が友人や同僚の場合、家庭内のことを知ることであなたとの関係性で優位に立とうとしていたり、何かあなたに対して疑っていることの証拠をつかもうとしている可能性があります。

### ■盗聴犯が家族の場合

盗聴犯が家族の場合には、離れて暮らす家族がどのような生活を送っているかを知るために盗聴しているケースが考えられます。

### ■盗聴犯が恋人や第三者の場合

盗聴犯が恋人や第三者の場合には、自分といないときの生活を知りたいという動機からストーカー行為に走っているケースや、人がいない時間を知ることによって空き巣に入ろうとしていることが考えられます。

また、企業の会議室や職場で盗聴器が発見されるケースもあります。企業において、盗聴する相手として考えられるのは、ライバル企業や自社の社員によるものです。

### ■盗聴犯がライバル企業の場合

盗聴犯がライバル企業の場合、新商品や企業秘密の情報を社内の会話などから知るために行っているケースが考えられます。打ち合わせを行う会議室などに仕掛けられているケースだけではなく、職場の机に仕掛けられているようなこともあります。

## 盗撮されるケース

盗撮されるのは何も芸能人や政治家などの著名人だけではありません。ストーカーや企業スパイなどによって我々の身近でも起こり得る行為なのです。ここではどういった場合に盗撮が行われるかを個人と企業に分けて説明します。

### ■個人の場合

個人で盗撮される場合というのは、ストーカーが相手の状況を探るためや、浮気調査、素行調査などが挙げられます。盗撮器具は身近なものから発見されることが多く、過去に付き合っていた相手からのプレゼントの中から見つかった、前の住人が置いて行ったものの中から発見されたというような例が存在します。

盗撮器具は現在数万円程度でも購入できるため、一般家庭であってもされる可能性が決して少なくはないのです。

### ■企業の場合

企業において盗撮される場合というのは、新商品の企画の場や、役員室、取引顧客の情報などがそのターゲットとして挙げられます。こうした情報は言うまでもなく重要であり、流出してしまえば企業に対する損害は計り知れません。

情報漏洩はもちろん盗撮者が第一に悪であることに間違いありません。

しかし、漏洩してしまった企業の信頼も崩れてしまうからこそ、確実な対策が求められるのです。

## 部屋が盗撮されているか調べるためには

近年、精密機器の技術発展は目覚ましいものがあります。小型で、性能のよいカメラやマイクも開発されたため、盗撮・盗聴をしようと思えばできてしまうような時代です。

例えば以下のような異変に気が付いたら盗聴・盗撮されている可能性があります。

- ・電気代が高くなった
- ・ベランダや玄関先などにゴミや泥土がある
- ・家具の位置に違和感を覚える
- ・外出するときに誰かに見張られているような気がする

引っ越し先でこのような異変に気づくかもしれません。

怪しいと思ったら誰かに相談することはおすすめしません。誰が盗聴・盗撮しているか分かりません。当社などの調査のプロに相談することをおすすめしますが、盗聴・盗撮されている危険性を鑑み、電話での相談は屋内でしないようにしましょう。

## 当社の実績について

大学研究室や上場企業をはじめ多くの企業・団体様の調査を手掛けています。

また、多くの企業様の付帯サービスとして盗聴器調査サービスをご導入いただいております。引越し会社様や不動産オーナー・仲介・販売会社様などのお客様に幅広くご利用いただいております。

また、個人のお客様についても戸建・マンション・アパート等問わず、同じ高精度の調査を提供しており、盗聴・盗撮被害にお悩みの方々から感謝のお声を多数頂戴しています。

当社は、1990年から警備業・調査業を行い世の中の安心・安全と防犯に尽力し警察及び各団体様から表彰や感謝状を授与されている多数の実績がございます。

どうぞ安心してお任せください。

## 機密の保持について

当社では、公安委員会の届出及び認定を受けて警備業・探偵業を行っております。

- ・北海道公安委員会(第10000261号)警備業
- ・北海道公安委員会(第10140045号)探偵業

探偵業法では顧客の秘密を漏洩すると、行政処分等の罰則がありますし、定期的に警察の立ち入り訪問があり、機密保持を徹底するように指導があります。

しかし、盗聴器発見を行う業者の中には、これらの届出を行っていないところが多数あり、情報管理が杜撰な盗聴器発見業者もあるので注意が必要です。

その他、弊社が行う盗聴・盗撮器発見の業務では、機密保持に万全の注意を払っておりますが、ご不明な点があれば、お問い合わせください。